学校番号	104

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『明解 歴史総合』　（帝国書院出版）						
副教材等	『明解 歴史総合図説 シンフォニア 五訂版』（帝国書院） 『明解 歴史総合ノート』（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合では、近代以降の世界と日本の歴史について、「近代化」「国際秩序の変化・大衆化」「グローバル化」という３つの観点から学びます。世界と日本の歴史を広く相互的視野から捉えることを意識してください。

2　学習の到達目標

・近現代史に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉える。
・現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。
・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	①現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解することができる。 ②世界とその中の日本を広く相互的な視野から理解することができる。 ③歴史的な見方・考え方とは何かを理解することができる。 ④資料を読解し、活用することができる。	①現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察・表現できる。 ②世界とその中の日本を広く相互的な視野から考察・表現できる。 ③歴史的な見方・考え方を働かせながら考察・表現できる。 ④資料の活用や歴史的技能の習得を通して思考し、判断することができる。	①現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史に興味・関心を持つことができる。 ②世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉えようとしている。 ③歴史的な見方・考え方を働かせながら追及しようとしている。 ④歴史的資料に対して粘り強く取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	歴史の扉	歴史総合という科目の特質や実生活に結びついている歴史的事象の存在、歴史に関する諸資料の特質やその活用方法を学習する	a 歴史という科目がもつ特質や、諸資料の活用方法について理解する	定期考査		
	近代化と私たち	ヨーロッパやアジア社会における近代化の進展と画期、それにともなう社会のありようや国家間の関係性の変化について学習する	a 大航海時代の到来に伴うアジア社会とヨーロッパ社会の接触、ヨーロッパにおける国民国家の形成、産業革命の進展などについて理解している b ヨーロッパ社会との接触に伴うアジア社会の変容やヨーロッパ諸国の帝国主義政策等について諸資料の読解を踏まえながら多面的・多角的に考察している c 諸資料の読解を通じた歴史事象の理解・考察活動に主体的に参加し、自分なりの考えを持つことができる	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題
2	国際秩序の変化や大衆化と私たち	近代化の進展に伴う国家間の関係性の変化や、大衆の台頭、二度の世界大戦とその惨禍、国際社会の変容について学習する	a 近代化や帝国主義政策の進展による国家間の関係性の変化や、二度の世界大戦の経緯や影響について理解している b 大衆の台頭やそれに伴う社会の変化、二度の大戦前後の国際社会のありようの変化について、諸資料の読解を踏まえながら多面的・多角的に考察している c諸資料の読解や他者との意見交流を通じた歴史事象の理解・考察活動に主体的に取り組んでいる	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題
3	グローバル化と私たち	第二次世界大戦後の世界のグローバル化の進展と、それに伴う社会の変容、現代的な諸課題について学習する	a 米ソ対立や、第三世界の台頭、冷戦の終結について理解している b 第二次世界大戦後の国際社会の変容や、グローバル化の進展、それに伴う社会の変化について、諸資料の読解を踏まえながら多面的・多角的に考察している cグローバル化の進展に伴い登場した現代的な諸課題等についての考察活動や他者との意見交流に主体的にとりくんでいる	定期考査	定期考査 提出課題	提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度